

遊休農地再生で仲間も仕事も増やし地域貢献**活動の経緯**

様々な障がいのある社員が働く当社にとって、非常に多くの工程がある「農作業」は、それぞれの得意な作業で活躍してもらえる良い職種ではないかと考え、2010年より農業事業に力を入れた。

継続的な仕事の確保や商品生産量を考えると、一定規模の畑が必要となる事から、当初2.4反ほどの耕作放棄地を借り入れ、地域の方々からご理解をいただき23名の地権者から合計4町歩以上の畑をお借りし、農業事業を行っている。

活動の概要

耕作放棄地の再生により障がい者雇用の場を作り、野菜や加工品を地元中心に販売して地域の活性化を図る。



野菜を使って好評なレストラン



若い世代中心で畑の拡大増産

活動の成果、主な実績等

24反の畑を借入れ、作付活動を開始。現在4町歩強の畑を活用している。

障がい者4名からスタート、若い世代を中心に年々人数を増やし、15名の障がい者と一緒に作業にあたっている。

農作物廃棄の削減・反収増加や商品の棚持ちの観点から、人参ミックスジュースとイチゴジャムの加工を開始し、5種類の加工品の委託製造を行っている。また、自社レストランにおいて、栽培した野菜を沢山活用した料理を提供している。自社売店、近郊スーパーの「近郊野菜」ブースにて販売している。

親会社やグループ会社を対象に年数回「野菜や加工品の販売会」を実施。また、毎年11月に「150～160名規模の家族参加型の収穫体験イベント」を行い、農業や食育への理解を深めてもらう機会を作っている。毎年12月に行う「収穫祭」では、近隣の方を迎え、新鮮野菜や加工品販売を通じ地域交流の場を設けている。また、相模原市職員生協における野菜・加工品販売会の実施や、JA直売所「あぐりんず つくい」で加工品販売を行うなど、生産地に近い場所での販売にも注力している。